

研究課題名	びまん性肺疾患の治療方針検討目的に実施されるクライオ生検時に気管支肺胞洗浄を併用する意義
研究実施機関名および 研究責任者	さいたま赤十字病院 呼吸器内科副部長 佐藤新太郎
研究代表施設および 代表研究者	さいたま赤十字病院 呼吸器内科副部長 佐藤新太郎
研究期間	2021年11月4日～2022年5月31日
研究の目的と意義	びまん性肺疾患の治療方針の決定に気管支肺胞洗浄が果たす役割を明らかにすることで、過不足のないより適切な気管支鏡検査を立案する
本研究の対象となる方	2018年2月1日から2021年6月30日の期間で、当院の呼吸器内科にてびまん性肺疾患に対して気管支鏡下にクライオ生検と気管支肺胞洗浄の両方を実施した方。
提供していただく情報	年齢，性別，呼吸機能，CT所見，病理所見，MDD結果
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	<b>【研究担当者】</b> 所属：さいたま赤十字病院 呼吸器内科副部長 氏名：佐藤 新太郎 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話：048-852-1111